

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業一覧

(単位：円)

No	交付金対象事業の名称	事業概要	所管課	予算額	全体事業費 (決算)	国庫支出金	うち 臨時交付金	道支出金	地方債	その他	一般財源	実施状況（実績）	事業の効果
		①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）											
1	修学旅行キャンセル料補助金	① 新型コロナウイルス感染症の影響により、修学旅行が延期又は中止になった児童生徒のキャンセル料を補助することで、保護者の経済的負担を軽減する。 ② 修学旅行キャンセル料に対する補助金 ③ 市内児童・生徒の保護者（申請は委任された学校長）	学校教育課	1,199,000	1,198,054	1,198,054	1,198,054				0	市内小学校 1校（児童 143人分）	新型コロナウイルス感染症の影響によって修学旅行を中止した際に発生するキャンセル料を補助する事で、保護者の経済的負担の軽減に寄与した。
2	支援物資配送事業	① 新型コロナウイルス感染症の感染者が属する世帯に対し、食料品や日用品等を詰め合わせた自宅療養セットを配送することで、他者との接触を最小限にとめ療養に専念できるようにする。 ② 自宅療養セットに係る購入費及び配送料 ③ 感染者が属する世帯	保健福祉課	40,672,000	32,651,722	30,930,666	30,930,666				1,721,056	配布数 3,117セット	新型コロナウイルス感染症の感染者が属する世帯に対し、食料品や日用品等を詰め合わせた自宅療養セットを配送することで、新型コロナウイルス感染症の拡大防止が図られた。
3	ほくと地域応援券発行事業（第4弾）	① コロナ禍における原油価格・物価高騰対策として、市内飲食店等にて利用できる「ほくと地域応援券」を全市民に配付し、市民の経済的負担の軽減を図るとともに、縮小傾向にある地域経済の活性化を図る。 ② 北斗市商工会への事業補助金 ③ 全市民	水産商工労働課	237,072,000	237,068,817	230,746,045	230,746,045				6,322,772	利用期間：令和4年8月5日～令和4年10月31日 応援券：①中小店のみ3,000円/人、②大型店・中小店2,000円/人 配付実数：44,546人 配付金額：①133,638,000円②89,092,000円 計222,730,000円 利用金額：①130,966,000円②87,916,500円 計218,882,500円 利用率：①98.00%、②98.68%、計98.27%	新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響で落ち込んだ地域経済の活性化が図られた。
4	水道基本料金等の免除	① コロナ禍における原油価格・物価高騰対策として、3か月分（令和4年7月から9月）の水道基本料金及びメーター使用料を免除することにより、利用者の経済的負担の軽減を図る。 ② 一般会計から水道事業会計への出資金（免除に係る減収及びシステム改修費用相当分） ③ 水道を使用している一般家庭及び事業者（国・道・市の公施設等は対象外）	財政課	86,538,000	85,448,090	85,448,090	85,448,090				0	・対象期間 令和4年8月検計分（9月納期限分）～10月検計分（11月納期限分） ・基本料金免除件数 58,631件 ・全体事業費 85,448,090円 （基本料金免除総額 83,184,950円） （システム改修費 2,263,140円）	原油価格・物価高騰による負担増が市民生活に重くのしかかる中、広く、事業者を含む市民の経済的負担の軽減につながった。
5	冬季生活臨時支援金	① コロナ禍における原油価格・物価高騰対策として、高齢者や障がい者世帯、年金生活者等（住民税非課税世帯等）を対象に、1世帯15,000円を支給し、物価高騰による影響緩和を図る。 ② 支援金及び支給に係る事務費 ③ (1) 非課税世帯等 (2) 新型コロナウイルス感染症支援制度対象者 (3) 歳末福祉見舞金支給対象者	保健福祉課	99,162,000	96,573,174	66,349,145	66,349,145	28,242,000			1,982,029	・住民税非課税の高齢者世帯 4,326世帯 ・住民税非課税の障害者世帯 381世帯	コロナ禍における原油価格・物価高騰の経済的影響を受けた高齢者や障がい者世帯への支援により、負担軽減が図られた。
			社会福祉課	7,705,000	6,917,000	6,917,000	6,917,000				0	《冬季生活臨時支援金 565世帯（6,963千円）》 （内訳）①歳末福祉見舞金対象世帯 126世帯 378千円 ②各種支援制度対象世帯 439世帯 6,585千円	原油価格及び物価高騰等の影響により増した生活費の負担が軽減され、対象世帯における家計の安定が図られた。
			計	106,867,000	103,490,174	73,266,145	73,266,145	28,242,000			1,982,029		
6	デジタル田園都市国家構想推進交付金	① GPSを活用した除排雪業務を効率化するためのシステム導入。北斗市は、比較的降雪の多い地域にあり、迅速・効率的な除雪作業が求められる。また、コロナ禍において、デジタル技術を活用したシステムの導入は、感染症対策においても有効である。 ② GPS端末や地図情報等の整備、システム構築に係る経費 ③ 受託事業者	土木課	27,500,000	27,500,000	27,500,000	13,750,000				0	・除排雪委託事業者 17社 ・除排雪車輛にGPS端末105台を導入	稼働時間の集計にかかる事務の軽減と市民からの問合せに対し迅速な対応が可能となった。
令和4年度合計				499,848,000	487,356,857	449,089,000	435,339,000	28,242,000			10,025,857		